

普段おしゃべりする時に、息継ぎのタイミングを意識していますか？  
階段をのぼりながら、また速足といった状況では、単語の途中や話のまとまりとは無関係なところで途切らせてしまうことがあります。でもそれは本意ではないですよ。私たちは無意識に意味のまとまりで息継ぎをし、間をおいて、話し相手の反応を見たり、求めたりしているように思います。

では、手話ではどのように意味のまとまりを取っているのでしょうか。  
今回は、うなずき、手話の強弱・緩急、顔の表情(眉の上げ下げ、目の開き方、頬の動きなど)を意識して見てください。話し手の間の取り方に気づき、シャドーイングをくりかえして、手話の間の取り方を自分の体にしみこませましょう。

※PT(Pointing/指さし)は人称(私、あなた、彼)や、指示代名詞(これ、それ、あれ)として使われます。PT1という表記は、一人称(私)を表しています。

### ラベル例

PT1/ 趣味 / お菓子/ 作る /好き / PT1 //  
お菓子 / 作る / 太る /  
今 / ない / 休み //  
1か月 / 1回 / 時々 / 簡単/ お菓子/ 作る //  
例えば /パンケーキ/や /ホットケーキ /や/ クッキー/簡単/お菓子/作る//  
難しい / お菓子/ 作る / やめる/ 休み / 中 / PT1 //

### 翻訳例

わたし、お菓子作りが趣味なの。  
ほら、お菓子作ると太ってしまうから  
今はお菓子作りはやっていない。  
でもね、1か月に1回くらい、時々だけど手軽なものを作っている。  
パンケーキとかホットケーキとか、クッキーなんか作っているの。  
手の込んだお菓子は作っていません。

- ① 動画を繰り返し視聴する。
- ② シャドーイングする。
- ③ 翻訳例を参考に自分で読み取り、音声を録音する。
- ④ 録音を聞きながら手話表現をする。
- ⑤ 自分の手話表現を録画して、動画と比較してみる。

#### 指さし(PPOINTING=PT)の種類

PT1	一人称	自分
PT2	二人称	相手
PT3	三人称	第三者
		物を指す
		その他(代名詞)

☆☆動画を見ることができるのは会員のみです。取扱いにご注意ください。☆☆

ご意見ご要望などありましたら研修部まで。